

平成21年度学校評価（最終）

世羅町立中央小学校

経営理念	【ミッション】 自立し、将来において地域社会を担う人材を育成する。	【ビジョン】 地域の人や保護者が通わせたい〈学ばせたい〉と思う学校をめざす。
	〈目ざす教職員像〉 教育への情熱を持ち、自らを高めようと努力する教職員	〈目ざす子ども像〉 自ら学び、自ら考え、自ら行動する子ども 全力を出し切り、挑戦する子ども

	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価指標	目標値	自己評価					学校関係者評価			改善計画
						7月	1月	達成度	評価	結果と課題	イ	ロ	ハ	
確かな学力の向上	基礎・基本を定着させ、学力の向上を図る。	確かな授業力を身につける。	授業研究において、授業評価表を活用する。	授業評価表平均2.5以上	80%	80%	90%	113%	A	平均は、3.0であった。今後、集団解決時の発問・切り込みの力をつけていく。	2	1	<p>教科学力について、その達成は必ずしも期待通りではないことが総括されている。そのことと授業力との相関関係をどのように分析するか課題である。ドリル学習・家庭学習・学習規律を充実させることは学力向上の基礎・基本ではあるが、そのことが即、確かな学力として醸成され、自ら学び、考える力へと発展するのかが問われていく。基礎基本の充実とともに、児童の意欲や関心を掻き立てる授業面での工夫改善が不可欠であると思われる。</p> <p>概ね達成できていると思われるが、特に心の育成は、表面的な言動だけの問題に留まらず、内奥にまで行き届かなくては真の成果とはいえない。例えば、諸言動において、校内では実行できるが、校外ではできないといった問題は案外多い。その現実を踏まえて、道徳の時間では葛藤場面を大事に取り扱いながら継続的な取組がされることを期待したい。</p>	
		学力をつける。	朝のドリル学習の計画を作成し、計画に沿って実施する。	国語科・算数科単元末テスト正答率 低学年90 中学年85 高学年80	80%	69%	75%	94%	B	学力アップの計画に基づいて取り組んだが3/4の児童が到達できなかった。	2	1		
		家庭学習の習慣を身につけさせる。	1年30分 2年40分 3年50分 4年60分 5年70分 6年80分	80%	76%	86%	108%	A	家庭学習はほとんどの児童ができていますが、目標時間でできていない児童がいる。	3				
		授業規律を徹底させる。	聞くマニュアル・話すマニュアルを活用して、基本スキルを習得させる。	学年のねらいにあわせた聞く力・話す力のついた児童	80%	66%	72%	90%	B	マニュアルを活用して、少しずつ力がついてきているが、聞く力にどの学年も課題が残った。	3			
		中央っ子の約束5ヶ条を身につけさせる。	学習準備、姿勢、挙手、筆箱の中身、声の大きさが身についた児童	80%	75%	78%	98%	B	年度始めに比べると13%アップしたが、声の大きさ・姿勢は7割程度の定着度である。	3				
ことばの教育を充実させる。	家庭での10分間読書を定着させる。	毎日10分読書をする児童の割合	80%	67%	75%	94%	B	低学年の家庭読書がなかなか定着しなかったが、4月に比べると40%アップした。	2	1				
豊かな心の育成	『生きる力』育成基盤としてのキャリア教育を推進する。	基本的な生活習慣を確立する。	起きる時刻・家庭学習開始時刻・寝る時刻を固定させる。	3点固定がよくできたと自己評価する児童の割合	85%	75%	88%	104%	A	課題であった寝る時刻の固定も90%の児童ができるようになった。	3		<p>『なぜ大切か』という意識づけをしながら指導を継続する。</p> <p>・校内だけでなく、校外（地域や家庭）でいつでもどこでも誰にでも気持ちのよい挨拶ができることを目指す。</p> <p>・道徳の授業改善を進め、児童の心に響く授業ができるよう研修を深め、思考を深める発問を工夫する。</p> <p>・引き続き教師の肯定的評価を増やすとともに、お互いの頑張りを認め合う場を設け、児童の自己肯定感を高める。</p>	
		レベル1～4を設定し、挨拶のレベルアップを図る	レベル3の挨拶ができる児童の割合	80%	71%	94%	118%	A	自己評価では94%の児童ができていますが、校外での様子等からの取組が必要である。	3				
		道徳教育の充実を図る。	よさ見つけ、頑張り見つけ、教師の肯定的評価（月2つ以上記録）を日常的に行い、自己肯定感を高める。	自分のよさが言える児童の割合	85%	74%	85%	100%	A	認め合う場を設定することで、学年初めより自分のよさが言える児童が19%増えた。	2	1		
		キャリア教育を推進する。	事前・事後学習を充実させ、4能力8領域を位置付けた体験活動を行う。	ねらいとする意識が高まった児童の割合	80%	43%	88%	110%	A	事前事後学習の充実により、ほとんどの児童の意識が高まった。	2	1		
委員会・係の仕事・掃除・美化活動等を通して、勤労意識を高める。	委員会や係の仕事、掃除など責任を持ってやりきる児童の割合	80%	81%	83%	104%	A	係は81%の児童、掃除は84%の児童が一生懸命やっているが、勤労意識に個人差がある。	3						
健やかな体の育成	行動力の基盤となる健康な体を作る。	体力を向上させる。	サーキット運動・5分間走の継続により走力をつける。	走が全国平均を上回る児童の割合	80%	80%	86%	107%	A	持久走は、93%の児童、50m走は86%の児童が全国平均を上回っている。	3		<p>習慣化させる取組は大切なことではあるが、同時に意味づけもしていないと内容の充実につながらないのではあるか。確かな学力は、強い心身に裏打ちされる場合が多いので、その育成はきわめて大切である。</p>	
		食育を推進する。	望ましい食事マナーを身につけさせる。	食器を持って食べる児童の割合	80%	72%	86%	101%	A	給食中声かけをすることで良くなってきているが、継続して指導が必要である。	2	1		
		安全指導を充実させる。	振り返りカードを活用するとともに、毎月安全指導を実施する。	廊下の右側を静かに歩いていると自己評価する児童の割合	85%	57%	74%	87%	B	全体的にはアップしたが、学級によって差がある。	2	1		
信頼される学校	開かれた学校作りを推進する。	学校情報を公開する。	学級日より、保健日より、中央っ子の発行とホームページの内容の工夫を行う。	学級日より・保健日より月2回以上、中央っ子年6回発行、ホームページ毎月更新	90%	95%	100%	111%	A	通信は、月2回を上回って発行できた。ホームページは毎月更新できたが、学年のページが1回遅れてしまった。	3		<p>地域・諸機関との連携はよくなされており、人材の有効活用や地域の協働体制は万全であると思われる。ただ、効果的な学習を展開する上で、事前の連携、特に外部指導者への細かな打ち合わせ等、課題となる部分があるのではあるか。学校日より等を通して、学校情報はよく伝わっている。今後も継続されること望ましい。</p> <p>・学校の様子がよくわかるという評価が増えるよう情報発信を引き続き行う。</p> <p>・人材の有効活用のために今まで以上に事前に細かな打ち合わせを行い、連携をとるとともに、地域への感謝の気持ちを持たせる。</p> <p>・危機管理研修は、緊急な研修だけでなく、年間計画をたて、計画に基づいて実施していく。今年度よりさらに内容を工夫して行う。</p>	
		地域・諸機関との連携を深める。	地域の教育力を活用し、児童の育成に役立てる。	五日制活動年間5回以上参加 地域人材活用各学年年間2回以上	90% 100%	85% 85%	90% 100%	100% 100%	A A	9/10が参加できた。 どの学年も地域の方から多くの学びができた。	3 3			
		危機管理を徹底する。	危機管理研修を計画的に実施する。	危機管理研修毎月1回	100%	91%	100%	100%	A	毎月1～2回実施。時間設定が難しい時は、短時間でも行うようにした。	3			

〔自己評価 評価〕 A：100%以上 B：80～100% C：60～80% D：60%以下

〔外部評価〕 イ：自己評価は適正である ロ：自己評価は適正でない ハ：わからない